

会長・部会長あいさつ

連携協力して取り組みます

南区自治協議会会長 柵村 真寿美



このたび南区自治協議会会長を務めることになりました。

私は南区大通に住んで20年になります。新興住宅地なので最初は隣の人もわからない状態でしたが、子どもに恵まれ子育てを通してたくさんの方々と出会いを重ねてくることができました。その中で考えてきたことは、これから南区に生まれ育つ子どもたちの住みよいふるさととして、またこれから高齢となる私達が住みよい場所となるよう、他人事ではなく一人一人が自分のこととしてしっかりと考えなければならないということです。

住んでいる人が一番よく分かっているこの地域の良さ、守っていくべきもの、そして課題…。自治協議会は、地域からの多様な意見を調整し、新潟市と連携協力(これを協働といいます)していく役割をもち、様々な団体から選出された委員が取り組んでいます。前向きに、いろいろな視点から考え、それをより良いコミュニケーションで伝え実践していくことが大事だと思っています。微力ですが、力を尽くして参ります。

防災と見守り

第1部会長 佐々木 彰治



前年度は、海津部会長を中心に南区の課題である公共交通に特化した取り組みとして、公共交通完全ガイドブック全戸配布と、時代の流れに合ったWEB(インターネット)システム活用での利便性の向上を図りました。公共交通バスに関する啓発を図るイベント等も企画して、区民の関心を高めることが出来ました。

今年度は、前年度からの公共交通の利用啓発に加えて、防災意識を高めるためのチラシや啓発品の配布を行います。次に「南区安心安全みまもり隊」の発足を目指して、自治協委員が各団体と連携を取りながら、地域の情報を広く収集して、区とのパイプ役を務めます。

それらに取り組むために、事務局・自治協委員ならびに他の団体と協働を推進してまいります。誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らしたいと思っています。それには「協働の力」を確実に高めるため、地域住民と行政、そして、そのパイプ役としての、自治協委員が共に行動する仕組みづくりを目指します。

11月は南区「家族ふれ愛月間」です。

第2部会長 西村 徹



第2部会の部会長を仰せつかりました、西村です。南区のPTA連合会の代表として、自治協議会委員を務めております。自治協議会委員3年目ですが力量不足ですので、委員の皆様にご協力いただき精一杯努めさせていただきます。

私たち第2部会のメンバーは、男性が二人であとはすべて女性という構成です。さながら女子会のような感じですが、先日の1回目の部会でもそれぞれの立場で活発な意見を述べられ、今後が楽しみです。

第2部会では、11月は「家族ふれ愛月間」を区民の皆様にも周知すべく、南区内の小学4年生の絵画展、中学1年生の標語・川柳展などさまざまな催物を開催いたします。子どもたちに、家族の良さや大切さを感じてもらい、ここに生まれ住んで良かったと思える故郷、南区を目指して活動してまいります。

皆様のご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

魅力再発見

第3部会長 市嶋 洋介



南区自治協議会第3部会の部会長を務めることになりました。私自身、南区自治協議会は初めて参加をさせていただきました。現在様々な出会いの中で地域の魅力や課題を学ぶ機会を頂いたことを改めて感謝申し上げます。

第3部会では南区で抱える課題の中でも、とりわけ伝統産業の衰退や観光資源の再発見をテーマに取り組んでいます。少子高齢化や商店街の衰退など昨今耳にする事が多くなったマイナスな要素の多い中で「地域の課題」と言うと、どうしても堅い発想になりがちですが、子どもからおとなまで、まずは自分たちが地域を盛り上げ精一杯楽しむ事が一番の解決策だと思っています。第3部会でも世代を問わず学び、楽しめるイベントなども開催できればと思いますので是非ご期待ください。

最後に、各世代が活躍されているこの南区で私も30代の一人として微力ながら精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

南区 地域情報発信 インタビュー⑤ 南区の宝となるモノや話題、地域で活躍している方をピックアップ!



根岸小学校初参加!

子ども凧合戦に参加した 児童にインタビュー

子ども大凧合戦に、根岸小学校5年生の児童が初めて参加しました。凧作りの準備から本番の凧揚げまで挑戦し、合戦当日は、天気はくもり、途中から雨も降り出し強風が吹く中、雨にも負けず、風にも負けず、寒さにも負けず、みんなで協力して一生懸命凧を揚げました。



左から 野田怜花さん 田中菜穂さん 武田恭一さん

Q 凧作りの準備は、どの様な作業をしたの?

A 下絵は出来ていたので、凧合戦協会の人たちと一緒に、色塗りと骨組みの作業をしました。あと、出来た凧をグラウンドで試し揚げをしました。うまく揚げる事ができました。

凧合戦協会の協力のもと凧作りを行う児童



色塗り



骨組み

Q 凧はうまく揚がりましたか?

A 風が悪くて、すべてのチームが西側であげました。途中で雨が降ってきて、凧が破れて穴が開いたけど、みんなで補修して揚げる事ができました。

Q 子ども凧合戦に参加した感想は?

A 風が悪かったので凧を橋の上で手で絡めて合戦をしました。勝って、5位になってうれしかったです。途中から雨が降ってきて、びしょびしょになったけど楽しかったです。来年もまた参加したいです。

根岸小学校小林校長先生は、「子どもたちに南区の伝統文化に触れさせたかった。保護者はじめ地域の皆様、凧合戦協会の皆様方のサポートにより体験できたことを心から感謝している」と話されました。

取材 青木智子広報部会長